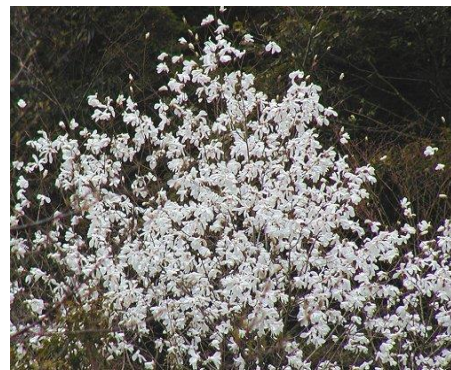


1. モクレン科の落葉小高木で日本各地の山地に生育する。
2. 花は4月初旬に、コブシに先駆けて、葉の展開に先立って咲く。花には芳香がある。
3. 花弁が6枚、萼片は3枚で白く、花のように見える。
4. 葉はコブシより細長い。互生（13cm位）（c f. コブシのほうが葉が広い。）
5. 幹は細く、小枝がたくさん出る。
6. 山に雪が降ったように白く咲く。
7. タムシバは花の下に葉がないので、コブシと区別できる。
8. タムシバの枝や葉は噛むと甘いので、サトウシバ、カムシバ、ニオイコブシの別名がある。
カムシバがタムシバに転訛したという説もある。
9. コブシは実がゴツゴツしているので、コブシと名付けられたそうである。
10. コブシもタムシバも庭木や器具材などに利用される。



これはコブシの花

先般長野県の奥裾花自然園に出かけたが、案内書にあったタムシバは見当たらずに花の下に緑の葉をつけたコブシだったことを確認した。